

発言者	発言内容
伊豆参事兼学校 指導課長	<p>皆さん、こんにちは。本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>ただ今より、清和台地区小学校区に関する地域説明会を始めます。はじめに、川西市教育長、牛尾がごあいさつ申し上げます。</p>
牛尾教育長	<p>皆様こんにちは、教育長の牛尾です。本日は、本会にご参会いただき、ありがとうございます。平素は川西の子どもたちの教育活動に、それから教育行政にご支援とご協力をいただいております。重ねてお礼申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>さて、市教育委員会では、清和台地区におきまして、当初、当時の児童数推計をもって、清和台小学校と清和台南小学校を統合するという方針を決定して、皆様に説明をさせていただきました。しかしながら、多くの皆様から様々なご意見をいただき、また児童数の実態の状況を見た中で、統合までのプロセス、保護者や地域の皆様への説明プロセスに課題があったと、そのことを踏まえまして、昨年、平成28年6月に、小学校統合に関しまして、再検討することを決定いたしました。これまでの様々な経過において、結果的には多くの皆様にご迷惑・ご心配をお掛けしました。市教育委員会を代表しまして、この場で、改めましてお詫び申し上げます。</p> <p>市教育委員会といたしましては、その後、様々なご意見やお考えを整理させていただき、改めまして2つの地区における「学校配置の適正化に関する手順」として、お手元にあります、手順を作成させていただき、まとめさせていただきました。内容につきましては、後ほど、担当のほうから説明をさせていただきますが、大きく申し上げますと、今後の学校配置の適正化を進めていく、そういう場合には、地域の実情に応じた検討を行い、保護者や地域の皆様と議論、協議、そして意見交換を重ねて、そういった取り組みを十分にもって進めていくことが大切であると改めて思うところです。それをもって、再検討後の教育委員会の考え方としてお示しをさせてもらいたいと思っております。</p> <p>本日の説明会、色々ご質問とかご意見等をもらいまして、議論を深めていただければ幸いに存じます。この後、よろしく願いいたします。</p>
伊豆参事兼学校 指導課長	<p>ここで、本日出席しております、教育委員会事務局職員を紹介いたします。</p> <p>先ほど、ご挨拶いたしました 川西市教育長の牛尾です。</p> <p>教育推進部長の木下です。</p> <p>学校教育室長の岸です。</p> <p>総務調整室長兼教育推進部参事の中西です。</p> <p>学務課長の志波です。</p>

<p>木下教育推進部長</p>	<p>私は、本日司会を務めます、教育推進部参事兼学校指導課長の伊豆でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、お手元の資料をもとに説明いたします。説明の後、皆様からご意見を賜る時間を考えております。また、本日のご意見等を記録するため、本説明会の音声は録音させていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、まず、教育推進部長木下から説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>失礼いたします。この後、お手元に配布しています「学校配置の適正化に関する手順」ということで、担当の者からご説明をさせていただきわけですが、その前に、私のほうから1点、少しだけお話をさせていただきたいと思っています。それはちょうど今年の8月です、小学校統合については再検討するというので、この清和台南小学校、この場で、8月20日になるんですけども、説明会をさせていただいた時に、「今後示される手順については、川西市全体の手順となるのか」というご質問をいただきました、その中で「そのように考えています」というお答えをしています。つまり、川西市全体の手順を今後お示ししていくという話を前回させていただいていたと思うんですけども、お手持ちの資料を見ていただいたら判りますように、今回お示ししていますのは、多田グリーンハイツ地区、そして清和台地区の2地区に限定した手順となっております。まずその点につきまして、私のほうから説明させていただきたいと思います。</p> <p>校区審議会の答申の中では、市全体の考え方として、学校教育の十全な展開と教育上の平等性の確保、通学上の安全の確保、そして地域との関係性というこの3つの観点から学校の統合を進めていこうと、そういうことが示されておりました。その中で、多田グリーンハイツ地区と清和台地区の2地区について統合が妥当であるという、そういった見解が出され、教育委員会では小学校統合に向けた検討を進めてきた、そういう経緯がございます。しかしながら、先ほどの教育長のあいさつの中にもありましたけれども、小学校統合については再検討するという中で、手順を示していきますということでの話になっていたと、そういう経緯がございますので、今回示させていただいたのは、この2地区に限った手順となっているという、そういったことでございます。また、地域の実態とか市内全体のそれぞれの校区の状況を検討させていただいた時には、非常に様々な今までの経緯あるいは歴史、そういったものを含んでいる中で、地域によって状況が異なるという中で、市内全体の手順を示すということは、現時点においては非常に難しい状況であるという、そういったこともございまして、今回2地区の手順を示させていただきたいということでございます。前回この場で、市内全体ということでお話させていただきましたけれども、2地区ということになりましたことに、お詫び申し上げるとともに、ご理解賜りたいと考えております。</p> <p>この後、担当のほうから、お手持ちの「学校配置の適正化に関する手順」についてご説明差し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
-----------------	--

志波学務課長

それでは私から、多田グリーンハイツ地区・清和台地区における学校配置の適正化に関する手順、この内容についてご説明させていただきたいと思います。少し時間が掛かりますので、座って説明をさせていただきます。

まず、本日の資料の確認ですが、本日は「学校配置の適正化に関する手順」と書かれたA4の5枚をホチキス止めしてある資料が1種類、それと「新たな児童推計手法」と書かれたA3で表の形式にまとめた資料、この2種類です。お揃いでしょうか。

それでは資料の説明に入らせていただく前に、まず、これまでの経緯も含めまして、少し説明をさせていただきます。先ほどまでの説明と少し重複する部分もごさいますけれども、よろしくお願いたします。

当初、市教育委員会といたしましては、少子化の影響で、全国的に学校規模の縮小化が進んでいる状況のもとで、今から約2年前、校区審議会からの答申を受けて、小学校統合について検討を進めてまいりました。しかしながら、児童数の状況を整理する中で、児童推計方法や学校統合までのプロセス、そして、保護者や地域住民の皆様への説明プロセス、そこに課題があったと結論づけ、昨年、平成28年6月には、小学校統合については再検討するという事に決定いたしました。その後、多くの皆様からいただきました様々なご意見やお考えを整理いたしまして、今回、学校配置の適正化に関する手順として作成いたしました。本日お配りしております。なお、この資料に基づきまして、本日は清和台地区においてということなのですが、午前中は10時から清和台小学校のほうで説明をさせていただきます。それと、多田グリーンハイツ地区においては来週の日曜日、5月21日(日)に、グリーンハイツ内に2つある小学校でそれぞれ地域説明会を開催する予定となっております。

今後、学校配置の適正化を検討していく上では、今まで以上、より良い教育環境への充実を図るとともに、小学校がコミュニティの核であること、これを勘案しながら、地域の実情に応じて検討を進めていくということを基本的な考え方としております。具体的には、以前お示ししておりましたような児童数推計に基づいた進め方ではなく、児童数の実態、実人数の動きを見た上で、必要な時点から検討をスタートさせるということにいたしております。また、検討を始めてからは、例えば2年後とか3年後とかというように、あらかじめ統合時期を決めておくということではなく、保護者や地域の皆様のお考えをお聞きしながら、適切と考えられる時期に実施しようとするものでございます。また、学校の選定に関しましても、その時点から、改めて検討を始めることとしております。

それでは、お配りしております資料に基づきましてご説明させていただきます。まずA4の冊子「学校配置の適正化に関する手順」をご覧ください。表紙を1枚めくっていただきますと「目次」を記載しておりますが、「手順作成の主旨について」から「これまでの経過」、「学校配置の適正化にかかる基本的な考え方」など、大きく6つの項目に分けて整理しております。

では1ページをご覧ください。ここでは、本手順の作成主旨について記載しております。地域によりましては、小学校の小規模化が進んでいる現状や、小規模校の教育上の利点、一方で問題点というものを記載しております。また、下から6行目以降になりますが、市教育委員会としては、小学校の小規模化に対し、教育上の平等性を確保するためにも「ある一定規模の集団を確保することが必要である」という考えのもとで、この手順を作成した、そのような主旨をお示しております。

次に2ページをご覧ください。ここでは、これまでの経緯を整理しております。多田グリーンハイツ・清和台の両地区における学校配置の適正化に関しましては、校区審議会の中で審議され、その答申に基づいて、今から約2年前の平成27年8月、教育委員会定例会において小学校統合について方針決定をいたしました。しかしながら、児童数の見通しや各地域からの様々なお考えやご意見を整理する中で、昨年、平成28年6月の教育委員会定例会で、両地区での小学校統合は再検討することに決定したという、これまでの事実経過を記載しております。

次に3ページをご覧ください。3としまして、市教育委員会としての「学校配置の適正化にかかる基本的な考え方」を記載しております。小学校が地域コミュニティの核であることを勘案し、今後、地域の実情に応じた検討を進めること、また、保護者や地域の方々と丁寧な議論を進めていくこと、それらをお示しております。次に、4としまして「学校配置の適正化実施条件と新たな児童推計手法」について記載しております。まず「(1)適正化実施条件」ですが、年度当初の4月に、いずれかの学校、つまり、清和台地区では清和台小学校または清和台南小学校において、複数学年に単学級、1クラスの実態がある場合に、そういう状況が起こった時から、その時点から、学校・保護者・地域の方々との協議をスタートさせるということに記載しております。続きまして「(2)新たな児童推計手法」では、児童数推計の算出方法を記載しておりますが、先ほどご説明しましたとおり、適正化実施条件は「いずれかの小学校の複数学年に単学級が実際に発生した場合」としてありますので、児童数推計は、今後の見通しなど、状況把握にのみ活用することといたしております。

次に4ページをご覧ください。ここからは、「学校配置の適正化に関する手順」とうことで、(1)では「学校配置の適正化に関する手順の説明」ということで記載しております。ここでは、今回お示しております本手順を皆様にご理解いただくため、下の図でお示しておりますとおり、各小学校区単位を中心に、ご意見やお考えを聴く機会を設けたいとしております。

5ページをご覧ください。(2)では「適正化実施条件の検証」について記載しております。毎年、年度当初に学級数の実態を確認し、適正化実施条件が認められない場合には「現状を維持します」としてありますが、いずれかの小学校の複数学年に単学級の実態があった場合には、学校配置の適正化に向けて検討していくという内容でございます。続きまして「(3)学校配置の適正化に向けての

協議の進め方」では、適正化の実施時期、学校の選定、通学上の安全確保などについて協議を進め、適宜説明会を開催しながら、皆様のご理解とご協力が得られるよう努めていくとしております。

次に6ページの上段のほうに移ります。とりわけ、学校の選定ということについては、まずは学校の環境、教育的な視点が中心となってまいります。まちづくり・地域づくりとの関わりも踏まえながら検討するということ、また、学校の跡地利用については、学校選定後に、市長を中心とした関係部署で、地域の皆様からの要望を踏まえつつ、計画的・総合的に検討していくとしております。続いて、本手順のまとめとして「6.最後に」として記載しております。学校配置の適正化について検討を進めることの必要性のほか、教育環境・生活環境等をより良い方向に改善していくことが目的であるということ、また、学校配置の適正化について「検討すべき状況が来れば」、地域の皆様と協議を行い、市教育委員会において具体的な検討を進めていくということをお示ししております。

では、もう1枚、A3版で配布しております「平成28年度 新たな児童推計手法」と記載された資料をご覧ください。資料をご覧くださいますと、左上のほうに参考ということで「平成28年5月1日時点」という記載があるわけですが、つまりこの資料は、昨年5月のデータを基礎とした今後の児童数推計でございます。ですので、この資料では、既に1年古いデータが起点となっており、平成29年度の1学期開始時点の児童数では、この推計値と今年度の実数とで既に違いが出てきております。そうしたことから、この資料は参考、目安でしかないということを前提にして、ご覧いただきたいと思っております。そして、繰り返しの説明にはなりますが、学校配置適正化に向けた検討を始める時期の判断には、児童数の推計値を用いることはございませんので、児童数推計は、参考資料としての活用ということになります。

以上が「学校配置の適正化に関する手順」に関する全体的なご説明になりますが、少し長い説明になりましたので、ポイントを3点振り返ってお伝えします。

まず1点目は、検討開始時期の判断には児童数推計、見込み値は用いないということです。児童数に関しましては正確な見込みが困難でありますことから、あくまで実態を見て判断していくこととしております。2点目には、今すぐ検討を始めるのではなく、いずれかの小学校で複数学年に単学級が現れた、その時から検討がスタートするということです。つまり、統合時期に関しても、学校の選定に関しても、その実態が現れてから具体的な検討を始めるということです。そして3点目に、今後、検討を進めるにあたっては、学校・保護者・地域の皆様のご意見やお考えをお伺いしながら、丁寧な議論を進めていくということです。市教育委員会で意思決定して一方的にお伝えするというやり方ではなく、様々なご意見を集約しながら方針決定へと導き、ご理解とご協力が得られるよう努めてまいります。

以上、市教育委員会として再検討いたしました内容、今後の手順について説明させていただきました。ご理解いただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたし

<p>伊豆参事兼学校 指導課長</p>	<p>ます。</p> <p>それでは、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。お手数ですが発言の前に、お名前はけっこうですので、「在籍児童の保護者様」か「未就学児の保護者様」、「地域の方」かについて、お知らせいただきたいと思います。なお、できるだけ多くの方に、ご発言の機会を作りたいと思いますので、ご発言の際には、要点を手短かにお伝えいただければ幸いです。</p> <p>では、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>参加者 <在籍保護者></p>	<p>すみません、子どものあれですよ、1人が清和台南小におりまして、2人その後にはスタンバイしているというような状態です。今のお話で1点伺いたいんですけども、仮にこの新たな児童推計手法で、A3のこの用紙にある推計どおりに動いたとすれば、平成32年度に話題になるところで、複数学年が1クラス、単学級になるというところで、これで32年度の年度頭に恐らく検討が始まるということなんですけども、理解はこれでよろしいですか。仮にこう書かれてますけども。</p>
<p>志波学務課長</p>	<p>はい、おっしゃるとおりでございます。この推計表上ではそのような形になります。</p>
<p>参加者 <在籍保護者></p>	<p>要はその場合に、検討が始まってから、統合に実際に至る年度までのスケジュールというのは、一体どれぐらいで想定されていらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>志波学務課長</p>	<p>はい。この統合までの年度というのは、年数というのは、今のところは具体的な想定はございません。未定でございます。ただ、一般的なその傾向なんですけど、全国的な傾向といたしまして、やはり統合について検討される場合には、大体その4年以内ぐらいまでで結論とされているケースというのが半数以上ございます。それとその結論が出てから、もしも統合するという結論になった場合には、さらに1年から2年の期間を掛けて実際に実施されているというケースが多いということでございます。</p> <p>ただ、あくまでもその時期については、皆様のご意見を伺いながらその時期を判断していきたいと考えていますので、この両地区の適正化に関しましては、時期は未定ということでございます。</p>
<p>参加者 <在籍保護者></p>	<p>わかりました。まあケース・バイ・ケースなんですけど、今のお話でいきますと、標準的に言うと、大体その検討が始まるというか、学校が統合するまでに6年ぐらいの時間が掛かっているのが標準的だというような理解をしているのですが。</p>

志波学務課長	はい、全国的な数字から言えばそのような形になります。
参加者 <在籍保護者>	はい、わかりました。ありがとうございます。
伊豆参事兼学校 指導課長	ほかに、いかがでしょうか。
参加者 <未就学保護者>	清和台幼稚園に今、一番下の子が居てるんですけども、ちょっとそこのお母さんのお話で聞いたのは、今、清和台小学校が児童数が35人で、学級数が1クラスで単体の学級になっているんですけども、これは前倒しになるとやっぱり、少し先の話だと思うんですが、やっぱり検討は前倒しになっていて、下の娘が小学校に入る時には、もう統合になるよってという話が前倒しになったりとかはするんですか。
志波学務課長	その検討が前倒しになるというか、要するに複数の学年に単学級が出てきた場合ということになります。今ご指摘いただきましたその清和台小学校のですね、平成29年度では児童数が1年生が48人で2クラスという推計がございましたけども、実際には35人で1クラスという状況になっております。ですので、1つの学年では単学級が出たという状況でございますので、今後、次年度以降ですね、これが複数の学年でこういうことが起これば、その時点から皆さんとの協議をスタートさせるという状況になります。
参加者 <未就学保護者>	もう1つお聞きしたいのが、統廃合になった場合の、どちらかの学校が覚えてないんですけども、そうした場合、どちらの学校になるのかは大体決まってるのでしょうか。
志波学務課長	すみません、その部分についても、それも協議の中で決めていくという形になりますので、今の時点では未定です。当初はですね、清和台南小学校という形で予定はしてたんですけども、そこについては再検討の結果、これから考えていくということにしていますので、今の時点では未定。ですから、学校の選定も未定ですし、統合とした場合に適正化の実施年度についても未定ということでございます。皆様のご意見をあくまで聴いてから判断していくということでございます。
参加者 <未就学保護者>	はい、ありがとうございました。
伊豆参事兼学校 指導課長	ほかに、いかがでしょうか。

<p>参加者 <未就学保護者></p>	<p>2人の子どもが幼稚園に通っておりますが、1つ単純な質問なんですけども、今日の説明会は午前、清和台小学校でされたということなんですけど、何名参加されたでしょうか。</p>
<p>志波学務課長</p>	<p>はい、午前中の参加者は39名になります。</p>
<p>伊豆参事兼学校 指導課長</p>	<p>ほかに、いかがでしょうか。</p>
<p>参加者 <未就学保護者></p>	<p>はい。子どもが、上の子が小学校に通っていて、下の子が新清和台幼稚園の年長さんです。説明を聞かせいていただいて、そうですね、学校配置の適正化に関する手順というのは、まあご説明どおりだと思うんですけど、やはり皆さん聞いておられる中で、自分の子どもが通う小学校がまあまだ未定だとしたらなんですけども、まあゆくゆく統合されていくとかという不安を抱えておられると思うんです。まあその児童の数の推移を見た場合には絶対に清和台南小学校がそのやはり統合の対象になるんじゃないかなというのが、小学校が無くなるんじゃないかなという流れになっていくと思うんです。その中で色々話し合いをしていって、ご意見を色々な方からまあ聴いて、考えていくということだと思うんですけど、この意見交換会の中で、学校、保護者、地域コミュニティとあるんですけど、まず保護者の方はどういった方なのか、まあ参加される方は皆さん参加されるのか、また地域コミュニティの核と書いてますけど、地域コミュニティでどういった方が参加されるのでしょうか。</p>
<p>志波学務課長</p>	<p>はい。保護者、PTAの役員の方というのももちろん想定の中にございますし、今回も実際にですね、この説明会の前には事前にご説明をさせていただいた経緯もございます。ただ、これによってどういう形に限定されていくのかというと、今のところそれも未定のところではあるんですけども、今後コミュニティの役員であったりとか、様々な形で我々の方からお伺いさせていただくこともございますし、要請があればその場に説明にお伺いするという形で想定しております。今回、地域説明会ということで、小学校単位でさせていただいてますけども、もっと小規模な人数の中ですと、丁寧にご説明をさせていただきながら、並行して行っていきたいというふうに考えております。</p>
<p>参加者 <地域住民></p>	<p>1点だけ確認させていただきたいのですが、まあ前回の8月20日に説明を受けた以降、検討されて、学校配置の適正化に関する手順を作られて、まあ前回よりも前進した内容で、上手く作っておられるなというふうに思いますが、1つ聞きたいのは、清和台の中の、以前平成31年度の統合に向けたというような話もあってですね、私、今資料をこうやって持ってるんですけど、ただ、先ほどの適</p>

<p>志波学務課長</p>	<p>正化の手順の中で3点ほど説明されたこともありますけども、1点だけ、当初、清和台は平成31年ということで統合を進める、グリーンハイツは平成30年やったかな、1年前やったと思います、統合の話が出たのは。仮にグリーンハイツよりも先に清和台のほうが複数学年の単学級が発生した場合、先行して清和台のほうを先に、統合上のそういう検討に入られる予定なんですか。</p> <p>はい。おっしゃいましたとおりですね、グリーンハイツについては当初は平成30年度に統合、それから清和台については31年度ということで、この推計を基にお示しをさせていただいておりました。ただ、推計そのものが実数と変わってきている現状も先ほどお伝えしましたとおりでございます、実数の、もちろん実態としてグリーンハイツよりも清和台のほうに先に複数学年に単学級という実態が現れてくれば、グリーンハイツよりも検討そのものが先行していくということになります。ただ、検討のスタートが先行しても、そこから先は、また適正化実施までの期間というのは、それはそれぞれの地域のお声を聴きながらということになりますので、それはですね、まだ分からないということでございます。</p>
<p>参加者 <在籍保護者></p>	<p>清和台南小学校に通っている子の母親でございます。今回、説明会があったんですけども、不定期にこういった全体で説明する機会というのは、今後も何回かあるのか、それとも2学年に単学級が出た時点でまた新たに説明という具合になってしまうのか、大体の日程がもし決まっているのであれば教えていただきたいなというふうに思います。</p>
<p>中西総務調整室 長兼教育推進部 参事</p>	<p>今後の取り組み、進め方でございます。先ほど、説明させていただきましたように、今回、両地区で4つの小学校単位で説明会をさせていただきます。それは去年までこういった単位で説明会をさせていただきましたので、とりあえずこう変わりましたという説明は同じ小学校でさせていただくということで、実施させていただきます。その後につきましては、先ほど申していますように、少し小規模な単位での説明会、今回もこれだけの方がご参加いただいておりますが、なかなかご意見を言いにくい方もいらっしゃるかも知れませんが、もう少し小規模な単位での説明会を、例えば保護者の方を少しグルーピングをさせていただいたりとか、地域の方でグループを作っていただいたりとか、また就学前の幼稚園ですとか保育所の保護者の方でも同じような形で、できるだけこういった意見交換の場を設定をしていきたいと思っております。ご質問にありましたこういった形の例えば小学校ごとの説明会につきましては、そういったご意見をいただく中でまた必要があれば開いていきたいと思っております、現時点ではまずは小規模な会でのご意見をいただく場を重ねていきたいというふうに考えております。</p>
<p>参加者 <地域住民></p>	<p>すみません、1点だけ。簡単にお聞きさせていただきたいと思っております。今後、小学校の統合説明会で、過去から何回もされて、まあ教育委員会マターで</p>

岸学校教育室長	<p>大体されているんですが、まあ特に窓口ですから仕方ないなと思ってます。しかし、校区審議会の諮問決定、教育委員会が判断されて、それで統合の説明会もされてるんですが、この小学校の統合の問題というのは、教育委員会だけの問題でもないと思うんですね。これ川西市全体の問題でしょう。ならば、いずれかの時点で市長が出てくるとか、また市長が公務で忙しければ副市長とか、また、担当の部長あたりが出てこられて説明の場の中に入っていたくのが筋じゃないと私は思うんですが、その点はいかがなんでしょうか。</p> <p>本当にそういったご意見、これまでもたくさんご意見を頂戴しているんですけども、まずはその子どもたちのその教育環境をどうしていくのかということは、まずは教育委員会のほうで考えのほうをですね、案を作らせてもらって、保護者や地域の皆様とその考えについてこうやって意見交換しながらしっかり考えていくというのを設定していくというのが筋ではないかなと思っています。ただ、本当に市全体に関わることで、市長部局の者も一緒に出席して一緒に説明をということについては、今までたくさんご意見をいただいていますので、改めまして今回そういったご意見をいただいたということは、しっかりと市長部局のほうには伝えていきたいと思えます。以上です。</p>
伊豆参事兼学校指導課長	<p>ほか、よろしいでしょうか。</p>
伊豆参事兼学校指導課長	<p>それでは、本日いただいたご意見・ご質問等ありがとうございました。最後に、教育推進部長の木下よりごあいさつ申し上げます。</p>
木下教育推進部長	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。まあ今までのね、様々な経過の中で、本当に多くの方にご心配なり混乱を招いたこと、申し訳なく思っています。そういった中で、今回新しく手順を示させていただきました。1つは、我々教育委員会もそうですし、保護者の皆様、地域の皆様も一番願っていることは子どもたちが増えて、この清和台地区におきましてはね、この清南小、そして清小、この2つが存続していくという、これを一番望んでいると。これは多分みんな同じ方向を向いているのかなというふうに思っています。</p> <p>ただ、現実としまして、日本全国の子どもたちがこれだけ減っていく中で、この川西だけが現状維持できる、あるいは逆に増えていくということが非常に難しいことなのかなというふうに思っています。当然、我々としましては何とか子どもたちがこの川西に移り住むような努力はしていくわけでございますけれども、ただ、全国的な動きを見た時に、それに向けてどのように準備をしていくのかということ、非常に大切なことかなというふうに思っております。今回こういった説明会を持たせていただきました。多分もっとお考えをお持ちの方もおられる</p>

<p>伊豆参事兼学校 指導課長</p>	<p>と思いますけれども、あくまでも子どもが今まで以上により良い環境の中で教育を受けられると、そういったことが一番の目的でございます。そのためには色々なご意見もございませう、そういったこともまたお聞かせいただきたいと思います。そのためにはまた説明会のような形も取りますし、場合によっては色々な疑問点とかございましたら、教育委員会の学務課のほうに問い合わせしていただきましたらしっかりとお答えしていきたいんで、そのようなふうに思っております。そういったことで今後も進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。本日は、どうもありがとうございました。</p> <p>これもちまして、本日の地域説明会を閉会いたします。 ありがとうございました。お気をつけて、お帰りくださいませ。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>
-------------------------	--